

作り出す遊び

作成日 令和4年9月15日
対象児 1歳児ばら組
作成者 山川真紀

○ねらい 友達や保育者と一緒に作ったもので、遊ぶことを楽しむ。



◎振り返り

ばら組では、今、病院ごっこ、お家ごっこ、おばけごっこ、美容室ごっこ、お店屋さんごっこなど、様々なごっこ遊びを子ども達が楽しむ姿が見られています。子ども達が経験したことのあつことを子どもから、ごっこ遊びとして繰り返されておき、「今日はどんな遊びがはじまるかな?」と保育者もワクワクしながら、遊びの中に入り、一緒に楽しんでおきます。保育者が、大型積み木やウエーブバランスを用意していると、一人の子どもが運びたそうにしておき、運びたいという気持ちを大切に見守りながら、任せてみることにしました。すると、それをみた、他の子ども達も「する」と言つて自分の部屋の好きなところに運び、置いたり並べてみたりする姿がみられました。そして、置いた積み木を家に見立て、ままごと道具を持ってきて、積み木の上に食べ物をのせて、お店屋さんごっこやお家ごっこをする姿がみられました。保育者が組み立てているのを見たことがあるウエーブバランスは、運ぶだけでなく、つなげようとする姿もあつたので、その気持ちを大切に、危ないか傍で様子を見ていきながら、タイミングを見計らつて、保育者がさりげなく手伝つてみると、つながつた時、「できた!」と言つて子ども達が満足そうに喜ぶ姿もみられ、保育者たちも嬉しくなりました。日々、子ども達の様子や興味をもっていることなどをクラスの保育者同士話し合つて、環境を整えたりしていますが、遊びの環境を先に整えるだけでなく、時に応じて、子どもたちと一緒に作つたり、子ども達に任せれるところは、見守つていきながら任せてみることで、子ども達が自発的に遊べる環境になっていくのではないかと感じました。これからも子ども達とワクワク楽しみながら、過ごしていきたいとお思います。

(健康な心と体・思考力の芽生え・豊かな感性と表現・言葉による伝え合い)